



令和8年(2026年)版

Yomo Yomo

～10代のあなたに～



未来



『SFで身につく「科学」の教養

そろそろタイムマシンで未来へ行けますか？』

さいだともや
齊田興哉／著 飛鳥新社 2023年発行

これまで映画やアニメには、空を飛んだり天気をあやつったりすることが描かれてきました。誰もが一度は「えっ！本当にできるの！？」と抱いたことがある疑問に、元JAXAの著者がQ&A形式で答えてくれます。透明人間や不老不死になれる未来が来るかもしれません。身近に科学を感じてみてください。



『人類滅亡フラグがたちました！ぼくらが決める七つの未来』

れいじょう ひろこ／著 明菜／イラスト PHP研究所 2021年発行

ある日突然、宇宙人によって集められた7人の中学生。「今のままだと人類は滅亡します。人類が滅びない理想の世界とはどんなものでしょうか？」との宇宙人の問いかけに、ひとりひとりが考えた理想の世界のシミュレーションを体験していきます。永遠にラブラブの世界、ゲームを戦争の代わりにする世界……。さて、その結果は？



『きのうの君とみらいの君へ ~思春期の6人の物語~』

てんかわえいと 天川栄人／作 あらいようじろう 新井陽次郎／カバーイラスト くりたゆき／本文イラスト
集英社 2024年発行

「同性の先生に恋をする」「可愛い洋服を着たい、けど女の子になりたいわけじゃない」「身体は女の子だけど、男の子になりたい」これって、変なのかな？ 誰かに打ち明けるとどうなるのかな？ 自分の性のあり方に悩みを抱える6人の中学生の物語。自分の人生は自分しか生きることはできない。だからこそ自分らしく輝かせたい！



『アフターマン 人類滅亡後の動物の図鑑』

ドゥーガル・ディクソン／著 G.Masukawa／訳 Gakken
2019年発行

5000万年後の地球を想像してみましょう。この本では、人類が滅亡し、文明の産物が消え去り、多くの生物が絶滅した後の地球の姿が描かれています。生き残った生物たちは、祖先の特徴を進化させ、新しい姿で未来の地球で共存しています。私たちが決して見ることのできない未来の地球を、のぞいてみませんか。



『未来が楽しみになる 宇宙のおしごと図鑑』

はやしきみよ
林公代／著 KADOKAWA 2025年発行

「宇宙に行きたい！」「地球を宇宙から眺めてみたい！」と思ったことはありませんか？ 宇宙はどんどん身近になって、だれでも気軽に宇宙に行ける日が近いかもしれません。この本には、宇宙旅行プランナーや宇宙食シェフなど、宇宙にかかわる仕事がたくさん紹介されています。宇宙に行きたいあなた、将来の仕事を探してみませんか？



『タブレット・チルドレン』

むらかみ
村上しいこ／作 かわいちひろ／絵・漫画 さ・え・ら書房
2022年発行

中二のクラスにあたえられた課題は、二人ペアになってタブレットの中でA/Iの子どもを育てること。漫画家志望の心夏と無口な温斗の子どもになったのは、小六の毒舌少女マミ。マミは「親」を試すような質問をしてくるし、ペア同士の意見は合わないし、子育てって大変！ でも続けていくうちに、現実の人間関係にも変化が現れる。

編集・発行：箕面市立図書館 箕面市立小・中学校図書館

問い合わせ先：箕面市立中央図書館

TEL 072-722-4580 FAX 072-724-9697

発行日：令和8年（2026年）1月



箕面市立図書館
ホームページ

☆Yomo Yomoは箕面市立図書館の
ホームページからも確認できます。

箕面市立図書館 おすすめの本

検索



『コメディ・クイーン』

イエニー・ヤーゲルフェルト／作 ヘレンハルメ美穂／訳 岩波書店
2024年発行

心の病をわずらい、いつも泣いていたママは、自ら命を絶ったあともまわりを泣かせている。私はママみたいな生き方を絶対しないための7つのきまりを作り、徹底的にママと反対のことをすると決めた。そして人を笑わせるコメディ・クイーンになる！ 12歳のサーシャは、決して涙を見せず、懸命の努力をはじめる。



『なんで人は青を作ったの？ 青色の歴史を探る旅』

谷口陽子・高橋香里／著 クレメンス・メッツラー／画 新泉社
2025年発行

中学1年の蒼太郎と幼なじみの律は、森井老人が主催する科学俱楽部に所属している。ふたりは森井老人に導かれながら、北斎の波に使われた青色の顔料を作る実験をしたり、鍊金術の本に書かれている絵の具のレシピを試したり、青の不思議と秘密に迫る。青色をめぐる歴史のロマンと科学の不思議に惹かれる一冊。

『どうして戦争しちゃいけないの？ 元イスラエル兵ダニーさんのお話』

ダニー・ネフセタイ／著 あけび書房 2024年発行

長く続くイスラエルとパレスチナの紛争では、どちら側にも多くの犠牲者がでています。元イスラエル兵士で日本に住むダニーさんは「誰もが幸せに生きる権利（二人権）がある」と語ります。外国に長く住むことで、冷静にイスラエルや日本のことを見え、武器ではなく相手を知り、思いやりの心を持つことで解決できないかと、若者たちに問いかれます。



『きみの話を聞かせてくれよ』

村上雅都／作 カシワイ／絵 フレーベル館 2023年発行

中学校を舞台に生徒たちの揺れ動く心を描く7つの連作短編集。友だち同士のすれ違い、恋の悩み、自分らしさとの葛藤など、もやもやを抱える中学生たち。その間をひらりと駆けまわり「きみの話を聞かせてくれよ」と耳を傾ける黒野くん。悩みに向き合って、成長していく少年少女たちの姿に共感できます。

『ドクロ』

ジョン・クラッセン／著 柴田元幸／訳 スイッチ・パブリッシング
2024年発行



ある真夜中、少女オティラは逃げていた。走って走って、森をぬけたとおもったら、とても大きく古い屋敷があった。玄関の上の窓にドクロがいた。中に入り、かかえたドクロに屋敷を案内されるオティラ。ドクロが言うには、毎晩頭のないガイコツがこの屋敷にやってくるそうだ。得体のしれない不気味さに、想像力がふくらむ絵本。



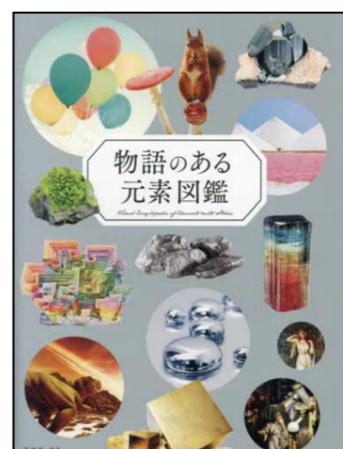
『宙わたる教室』

伊与原新／著 文藝春秋 2023年発行

東新宿高校の定時制に通う生徒は、年齢も個性も学ぶ理由もさまざまだ。昼間はリサイクル工場で働く岳人。ヤングケアラーだったアンジェラ。起立性調節障害のため不登校だった佳純。昭和生まれで町工場を経営していた省造。そんな生徒たちと担任の藤竹が科学部を結成し、学会での研究発表を目標に火星のクレーターを再現する実験を始める。

『物語のある元素図鑑』

ペズル／著 三才ブックス 2025年発行



約138億年前の宇宙誕生と同じ時期に生まれたとされる水素をはじめ、現在発見されている元素は全部で118種類。それらが発見された時のエピソードや名前の由来が、美しい写真とともに紹介されています。元素の数だけ物語があり、まるで短編集のような図鑑。元素が身近に感じられ、理科が苦手な人でも楽しめます。